

Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter

2023-2024

「今こそ変わる勇気を！
さあ、一歩前へ」

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
ガバナーノミニーの確定宣言	2
能登半島地震災害 支援金のご報告	3
第7分区 IM 開催報告	4
第8分区 IM 開催報告	5
第6分区 IM 開催報告	6
第5分区 IM 開催報告	7
第4分区 IM 開催報告	8
米山記念奨学生レポート	9
ハイライトよねやま	10
コーディネーターニュース	13
新入会員の紹介	16
ロータリー財団寄付者報告	17
米山功労者報告	17
物故会員	17
例会出席率及び会員数推移	18



ガバナーメッセージ

2023-24年度

国際ロータリー第2500地区ガバナー

鶴見 誠一郎

(紋別港RC)

「予想外」を予想する ～ ロータリアンに求められる危機管理

昨今、危機管理の重要性について見たり聞いたりする機会が増えました。危機管理は、組織や個人が危機や緊急事態が生じた時に行動する、または予防するための計画や戦略のことを指します。自然災害、突発的事故、健康被害、経済的問題など、さまざまな要因によって引き起こされる危険な状況に対処するためのアプローチです。

2024年の幕開けは、たいへん痛ましいできごとの連続でした。①能登半島地震、②航空機同士の接触事故。直近では台湾東部沖地震や愛媛地震。生活に関連することとしては③大手企業が販売するサプリメントの健康被害、④止まらない円安。ここまで大きな被害や影響が出るなど、いったい誰が思っていたのでしょうか。さらには、ロータリアンが青少年に関わる事件もありました。時として、⑤全くそんな気はなかったとするロータリアンの言動に対して敏感に受け止めパワハラやセクハラだと口にする若者も出てきているようです。

①～⑤は、安易に予見や予想できることではありません。しかし起きてしまったり起きる可能性があります。当事者は一刻も早く自分の身を守りその状況から退避すべきです。では、事象に対して我々ロータリアンはどうすべきか。過去から何を学び、感じ、備え、対処するか。「予想外」を予想する、これが大事です。想定内のことは世の中に溢れています。誰もが関わるができる。しかし、ありふれていないことに対処できる人は周りへ感動を与え、感謝され、人としての豊かさを取り戻し、自身も高められるのです。

「普通」とは、一般的な傾向や予測の基準で、ある程度の制度や信頼性が期待できます。「常識」とは、一般的に社会や文化の中で広く受け入れられている、あるいは広く知られている知識や概念のことです。しかし、双方とも安心できる内容で構成されていますが、絶対的なものではなく逸脱することがあります。これが予想外です。

起こるかどうかわからないことを考えすぎて、悩み、取り越し苦労をする必要はありませんが、これからもっともっと予想だにしないことが起こるであろうことを想定し、取り組んでいくことこそ奉仕の理想を語るうえで大切だと私は考えます。心に抱いていただきたいと思います。ロータリアンだからこそ考えることができ、ロータリアンだからこそ行動できることが必ずあります。一緒に考えましょう！！一緒に取り組みましょう！！

“必ず、誰かが皆さんの「力と、愛と、奉仕を」待っています。”

2024年3月27日

国際ロータリー第2500地区
クラブ会長 各位

国際ロータリー第2500地区
ガバナー 鶴見 誠一郎

国際ロータリー第2500地区 2024-2025年度ガバナーノミニーの確定宣言

2024年3月12日付けで、国際ロータリー第2500地区の2026-2027年度ガバナー候補者をRI細則12.030.5（2022年版）の定めに従い第2500地区すべてのクラブへ通知いたしましたところ、指定期日である2024年3月26日までに對抗候補者を推薦する旨の申し出はありませんでした。

よって、RI細則12.030.10（2022年版）の定めにより、地区ガバナー指名委員会を選出した山本 倫生 君を2026-2027年度ガバナーに就任する2024-2025年度ガバナーノミニーに確定したことを宣言し、併せてRI細則12.010（2022年版）の定めによりガバナーノミニーの肩書（2023-2024年度ガバナーノミニー・デジグネート）を担うものいたします。

2024-2025年度ガバナーノミニー

経歴

氏 名：山本 倫生（やまもと みちお）
生年月日：1961年9月27日
勤 務 先：メディプロホールディングス株式会社
日本メディカルプロダクツ株式会社



主なロータリー歴

【クラブ】	2002年	入会
	2009-2010年	幹事
	2016-2017年	会長
【地 区】	2013年	IM実行幹事
	2015-2016年	米山奨学生カウンセラー
	2024年	IM実行委員長
【ロータリー表彰】	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 米山功労者	

以上

第7分区 IM開催について

IM実行委員長 平 井 昌 弘
(釧路北RC)

令和6年3月16日（土曜日）に第7分区のIMを開催させて頂きました。

全員登録ではありませんが、191名のご参加を頂き、そして友愛の広場においてはコロナ明けで釧路市内においては実に4年ぶりということもあり大いに盛り上がり非常に有意義な開催だったと思います。

また当地区では一番早い開催ということもあり、沢山のご来賓の方にご参加を賜り誠にありがとうございました。

さて今年度、佐渡正幸ガバナー補佐は『希望あるシン・時代を創造しよう！～未来を担う新世代のために～』と題し青少年に焦点をしぼり、3部構成とさせて頂きました。

第一部は当クラブのバスターガバナーであります足立功一君の基調講演でタイトルは、『ロータリーが目指す地域の青少年育成』と題し、この後のパネルディスカッションに繋がる講演をして頂き、当分区での進学率・就職率、また若い世代との我々ロータリンとしての関わり方など、会員の皆様は真剣にメモを取りながら拝聴しておりました。

そして第2部の各クラブの奉仕事業報告においては、地区補助金を使った事業や通年通して行っている青少年事業などを発表してもらい、特に若い会員は他クラブを改めて知るきっかけにもなったと思います。そして3部目は青少年（4名）交えたパネルディスカッションを行い、コーディネーターは佐渡ガバナー補佐をお願いをしました。

このディカッションにおいては市内の4校に事前アンケートを取り、その結果について討論しま

した。内容については将来の夢や大人たちに期待すること、釧路地域においてどう思っているか？様々な項目について生の声を聞くことが出来ました。我々ロータリアンの遙か想像を超える、素晴らしい発言を高校生達は語っておりました。会員の皆様は目を光らせて聞いて居られたのが印象的でした。今後もこのような青少年育成は色んな形で継続していく必要があると強く感じました。

友愛の広場では余興も盛り込み、また屋台を出店して、ウェルカムドリンクなどおもてなしをさせて頂きました。

最後になりますが、佐渡ガバナー補佐はこれからの地域社会を担う青少年育成が重要であり青少年の将来を確りと見極め、青少年と『真』の意味で協働して実践していくことが肝要であり、お互いの想いを協同し、『心』を振り動かすことにより、未来を担う新世代のための希望ある時代が拓けると仰っておりました。どの地域であってもやはり青少年や若いメンバーの力が今後どうしても必要になってきます。その時が来てからではなく、今できることから始めるべきだと強く思いますし、会員増強にも繋がってくる部分も非常に多いと思います。

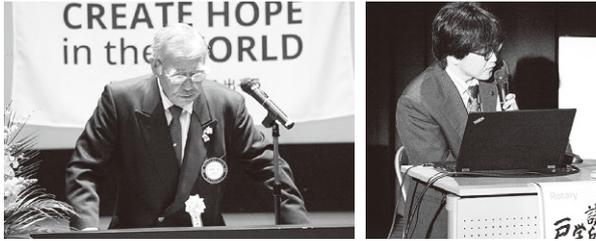
今回はそういう観点も含めて若いメンバー構成で実行委員を設えさせて頂いたので至らない点が多々あったかとは思いますが、内容は勿論ですが時間も含めて概ね予定通りに開催させていただいたことをこの場をおかりして心より感謝申し上げます。





第8分区 IM報告戯れ歌綴り

第8分区ガバナー補佐 楠瀬 功 (別海RC)
IM実行委員長 山口 長伸 (別海RC)



8分区 ガバナー補佐の弁慶が いや間違えた楠瀬氏 点鐘の音高らかに 響き別海IMの火蓋が切って落とされた 集う仲間は7クラブ 北海道の東端の 太陽昇るこの大地 日本の果てであろうとも 夢と希望はデッカくて キャッチフレーズ「別世海」「デッカイ町」の別名で 顔も態度もデカ過ぎて 奉仕の理想追究し 絆・友情深め合う 年に一度のイベントに ガバナー鶴見誠一郎 水も滴るイイ男 遠く紋別から来られ ポスに続いて3・4・5 分区ガバナー補佐までも 義理と人情集い来て まずは開会セレモニー 別海クラブ会長が 歓迎の辞を戯れ歌で…○牡蛎(カキ) 食べば鐘が鳴るなり 国泰寺ウイスキー呑み厚岸クラブ ○赤潮に負けずコンブとウニ漁獲浜中クラブ 高梨愛す(アイス) ○ジャガイモのような顔して 中標津増強みごと伯爵クラス ○北の勝四島(しま)で呑む日の実現を夢見て奉仕根室クラブは ○還る日に花咲蟹で根室西兄弟クラブ 友愛の宴 ○温泉に浸かった後は蕎麦・メロン名物多彩弟子屈クラブ ○直木賞受賞作家と甲子園歓喜重なる別海クラブ…基調講演・楠瀬氏 「世界に羽ばたけ別海の 子ら」と題してスケートで 4人の五輪選手生む その裏話公開し 森重航銅メダル 草葉の陰で亡き母が 背中を押してくれたから 続く特別講演は 別海生まれ学芸員 戸田博史氏「別海のおたから」題でお披露目し 国宝級の文化財 自然保全の成果多々 出席者から大拍手 続く閉会イベントは 次期ガバナー補佐役の 富山誠氏が

決意 宣言述べた高らかに IM次年度当番の 根室クラブの会長の 遠藤輝宣氏が述べる 次の開催根室市は 大歓迎で待っている さて夕刻の会場は 別海ホール「友情の 宴」開催 余興には 古屋佳代氏がサクソホン 独奏名曲 うっとり 奏で感性刺激され 酔いもそろそろ 深まると 宝くじにて別海の 名産物をゲットして 参加者みんな恵比須顔 結び定番ロータリー みんなで大きな輪をつくり 「手に手つないで」大声で 歌い楽しく解散し 戦い済んで日が暮れて ガバナー鶴見誠一郎 分区ガバナー補佐諸氏に 第8分区全員に 感謝と敬意申し上げ 第8分区IMの 報告戯れ歌綴りとし ああ一巻の終わりなり





第6分区 IMの開催に感謝

第6分区ガバナー補佐 田 中 義 博
(音更RC)



2024年3月30日土曜日13時よりホテル日航ノースランド帯広において、テーマを「不易流一クラブが主役」として、ご来賓ならびにロータリアン合わせて総勢309名の参加を得て盛大に開催された。開会式では地区補助金を活用して楽器購入費などを支援した音更町伊福部昭記念ジュニアオーケストラ様による国歌ならびにロータリーソング「奉仕の理想」の演奏により斉唱された。次にご来賓ならびに参加クラブ様のご紹介、主宰者挨拶後、ご来賓として音更町長小野信次様、ガバナー鶴見誠一郎様よりご挨拶を頂戴した。

講演会は従来とは趣向を変え、まずは私から今回のIM講演会について、第6分区11クラブ様を知る絶好の機会と捉え、テーマを「クラブが主役」とした趣旨を説明後、各クラブ様より創立順に「クラブ発表」をしていただいた。いずれのクラブ様においても、作成担当会員の熱意が伝わる素晴らしい発表をされ、参加者の皆様から好評をいただいた。第6分区初となるこの企画に準備等で甚大なるご尽力を賜った関係者の皆様に改めて感謝を申し上げたい。

閉会式は、鶴見ガバナー様より所感を頂戴し、私からの謝辞と帯広南ロータリークラブの

小田絹代次年度バガナー補佐様ならびに佐藤みゆき次年度ホストクラブ会長様よりご挨拶をいただき、IMコ・ホストクラブで帯広東ロータリークラブの池田誠会長様による閉会の辞後点鐘で無事終了することができた。

会場設営後、懇親会「友情の宴」が開催されたが、郷土芸能音更駒太鼓保存会様によるオープニングアトラクションから開始され、ガバナーエレクト小谷典之様による乾杯で祝宴となった。懇親中に11クラブ様へ今年度の活動ならびにIM「クラブ発表」の功績に対し表彰盾の贈呈式が執り行われた後、慣例のロータリーソング「手に手つないで」で締め括られた。

最後に、ご出席賜ったご来賓の皆様、他分区のガバナー補佐様はじめ会員の皆様、コ・ホストクラブ帯広東ロータリークラブの皆様はじめ第6分区の皆様、さらにはご参加いただいた多くの皆様からの温かいお心に・お言葉にお礼を申し上げるとともにロータリーで結ばれた友情に感謝を申し上げたい。そして、ホストクラブとして13年振りに開催されたIMを、合格点に導いた音更クラブの仲間にお礼を申し上げる。

尚、第6分区IMは記録集としてDVDを編集後、ガバナー補佐4回目の訪問時に各クラブ様に贈呈予定である。





第5分区 IM開催報告

5分区ガバナー補佐 河 口 高
(清里RC)

国際ロータリ第5分区のIMを、3月31日清里町において開催致しました。

来賓として古谷一夫清里町長、第2500地区鶴見ガバナー又、パストガバナー成瀬様、松田様、漆崎様、3分区ガバナー補佐新田様、特別講演の環境省阿寒摩周国立公園管理事務所 所長 田中 淳様の出席を頂きました。5分区9クラブ169名の多くのロータリアンの参加を頂きIMの開催の点鐘をする事ができました。今年度は鶴見ガバナーの熱い思いで事業計画が示され我々がガバナー補佐も緊張感を持って新しい取り組みを理解し又、各クラブの理解、皆様の「寛容な心」を深く実感し今日を迎えました、深く感謝いたしております。

本IMのテーマを「地域を元気にするロータリー」としました。人口減少は今後益々進みます、これは経済が縮小傾向に向かい、経済の縮小は我々ロータリー会員維持にも大きく関わる事と思ひます、観光振興・スポーツ振興は交流人口、関係人口の底上げとなり経済を押し上げます。

北海道への観光人込客数は増大傾向にあり、道東観光の新しい取り組みは地域の特性を活かした新しい旅行形態「ニューツーリズム」として注目され、非日常から日常への価値観の変化など人々の交流が少しでも大きくなる事が将来への希望となります。

今回の講演で地球環境の変化「存続維持」、持続可能な取り組み「自然再興」、地域が理解する環境学習など前編で話され、知床国立公

園、阿寒摩周国立公園、釧路湿原国立公園と3国立公園の潜在価値を創造する取り組みの中、「ロングトレイル」について講演いただきました。ロングトレイルは距離が長く全行程達成のためリピート率も高く長く地域との繋がりが持てる事業であり、健康のため、自然を感じるため、人と出会うため、歩く理由は様々ですが「旅人のための道」楽しむ事を創造し取り組む事が地域の元気につながる事と思ひます。

講演後フォーラムで北見地区、網走地区、美幌地区、斜里地区、清里の代表の方々と意見交換をさせて頂き各地区の取り組みと今後への思いを発表していただきました。少しでも地域と観光の繋がりが地域の賑わいに育っていただければ幸いです。

ご参加いただきました各クラブの皆様、実行委員長を中心に運営に取り組んでいただいたホストの清里RCの皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

各クラブ皆様のご繁栄とご健勝を祈念し第5分区IMの報告とさせていただきます。





第4分区 IMを終えて

第4分区ガバナー補佐 伊藤晴之
(紋別RC)

去る4月6日、遠紋地区で活動する6つのクラブを有する第4分区の都市連合会（IM）を紋別市民会館で開催させていただきました。

お蔭さまをもちまして、式典、記念講演、懇親会を通して知見を広め、友情を深め合うことが出来ました。2500地区・鶴見誠一郎ガバナー、小林正男幹事、各地区ガバナー補佐の皆様、第4分区の皆様は厚く御礼申し上げます。

ホストを務めさせていただきました、紋別ロータリークラブの丸田教雄会長は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが感染症法上の5類に移行してから始まった本活動年度は「それぞれのクラブにとって、失われつつあった『きずな』を取り戻し、本来の活動を再開した年度であった」と述べ参加者を歓迎。

都市連合会の学びの場となる基調講演では、2021年11月から約1年間、第63次南極地域観測越冬隊員として気象観測などを行った、紋別市職員の岩本勉之氏（市産業部水産課水産研究・国際シンポジウム学術担当）に「南極で暮らした1年～南極の自然、生活、観測隊の活動～」と題し講演していただきました。

日本の37倍の大きさをもつ南極までは、到達するまで40日要したこと。昭和基地は大陸から4キロメートルの海峡を隔てた島にあり、最低気温はマイナス45.3℃と南極としては温暖。いっぽう、夜も太陽が沈まない白夜や、逆に昼に太陽が昇ら

ない極夜、そして極夜の時期に見られるオーロラといった美しい自然の光景や、極限の環境の中で生息するペンギンの姿なども醍醐味だったと紹介していただき、多くの学びを得ることができました。

「友情の宴」では、当地・郷土の歴史を表現するべくローテックスが参加した迫力ある「上渚滑はばたき太鼓」、また、当クラブの末廣征嗣会員がボーカルを務めた「たそがれオールスターズ」の演奏、小森崇夫会員（政寿司）の素晴らしい料理もまた、歓迎を表し、「ロータリーの友情」に花を添えることが出来たものと自負しております。

最後になりますが、「混迷する世界情勢は、指導者の考え一つで大きく変わります」「一人ではできないことも、個人の意志を持ち、互いに信頼感を構築したら何でもできる」との考えから、本都市連合会のガバナー補佐としてのテーマを「絆・ともに歩もう」といたしました。まさしくこのテーマを実践した、我ら紋別ロータリーメンバーの団結力にも誇りを感じ、力強さに感動を覚えました。改めまして、薩田和明IM実行委員長、喜多俊晴実行幹事ほか、実行委員会の皆様、クラブメンバーの皆様は厚く御礼申し上げます。

ご参加くださいました全ての皆様に、少しでも私達の気持ちが伝わったなら幸いです。心からの感謝を申し上げ、御礼のご挨拶に代えさせていただきます。



米山記念奨学生レポート

米山奨学生 ^{イム} 林 ^{デヒョン} 大 鉉
(北見東RC)

こんにちは、私は2023年4月よりロータリー米山記念奨学生に採用させていただいた林 大鉉（イム デヒョン）と申します。いつもお世話になっております。私は2019年4月から北見工業大学を4年間通い、卒業して2023年4月から北見工業大学大学院に進学して現在に至ります。私の専攻は化学の無機材料です。そして、スマートフォンやEVなどに搭載され日々需要が高まっているリチウムイオン電池を更に軽く、容量が高い電池を作成するため正極材料を改良する研究をしています。私が日本で留学をして感じたのは日本から韓国へのイメージがとても好意的であり、またどんどん高くなっていることです。私が初めて北見に来たときに、多くの人々からK-POPや昔流行ったドラマなど気軽に話をしてくれました。今は私よりK-POPに詳しい方もいれば字幕なしでドラマを見たいから韓国語の勉強熱心の方も増えて来ました。私と出会った初期の頃にはハングルの子音・母音すらわからなかった方がハングルを書けるようになり、読めるようになり、話せるようになる姿を見ると感慨深いです。

現在、北見東ロータリークラブの例会に毎月米山奨学生として出席しています。初めてロータリーの例会に参加したとき、クラブの皆様は



社会的地位がある方々の集まりであることに私は驚きました。最初、会話をするのがとても緊張していたのですが、クラブのロータリアンの皆様はとても親切で、優しく話を盛り上げてくださり、私が馴染めるように気にかけてくださりました。おかげさまで今になっては毎月の例会に参加し、様々な活動をしています。

クラブの活動の中で特に印象深い活動はクラブの皆様と一緒に北見神社の清掃活動をしたときです。どんな地域立場にかかわらず神社の清掃活動には誰一人休まず参加することに感動しました。そしてロータリーの素晴らしさを知りました。

これからロータリーの精神を受け継ぎ日本と韓国の交流を深めたいと思います。





公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol.

289

2024年4月12日
発行

1. ベトナム南米山学友会 創立記念式典開催

3月10日、10番目の海外米山学友会として発足したベトナム南米山学友会の創立記念式典

【会長：ホーライフーン

さん(1973-75/桐生西RC)】が、ホーチミンにて開催されました。式典当日、当会からは若林紀男理事長、滝澤功治副理事長、相澤光春副理事長、駒井英基常務理事に加え、日本からも40人以上のロータリー会員が出席。その他、韓国、中国、モンゴル、タイ出身の米山学友も多数出席しました。また、在ホーチミン日本国総領事館の古舘誠幾首席領事が出席し、この記念すべき日を祝うために会場に集結した人数は約140人となりました。ベトナム南米山学友会は2015年から米山学友グループとして、背中に「超私の奉仕」の文字を刻むオリジナルシャツを身にまとい、児童・障がい者・高齢者のための福祉施設への慰問など、日本のRCと連携しながら多



数の奉仕活動を行っています。式典内では、これまでに学友会活動をサポートしてきたRCへ感謝状が贈呈されました。

さらに、学友会が支援している児童養護施設の子どもたちが登場し、たくさん練習した、というダンスを披露。出席者からは温かい拍手が送られました。その他、レクリエーションや参加者全員による「手に手つないで」の合唱など、会場は熱気に包まれました。



2. タイ米山学友会 総会開催

2月25日、タイ米山学友会の総会がバンコク市内で開催されました。

総会はワラウト ブンロッド会長(1995-97/福岡東南RC)の挨拶に続き、今年1月に発生した能登半島地震で亡くなられた方々への黙とうが行われました。その後、財務報告、活動報告が行われ、2021年に医療機器寄贈を行ったワットプレーン病院への再訪問と近況報告会の開催、昨年8月に開催された米山学友による世界大会「再会 in 関東」への参加などが紹介されました。

また、ワラウト会長の後任となる次年度会

長選挙が行われ、現在副会長を務めるペチニンナレスさん(1994-96/越谷RC)が会長となることが決定。次年度から新たな体制で学友会活動をスタートさせます。



3. 2024 学年度奨学生採用とオリエンテーション開催

2024 学年度の奨学生は 932 人となりました。新規採用者 634 人、継続者 298 人です（4 月 1 日現在）。国・地域別では、中国 40.6%、ベトナム 14.6%、韓国 12.9%、インドネシア 4.6%、マレーシア、モンゴルが同率で 3.0%の順です。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が 875 人（学部 421 人、修士 263 人、博士 191 人）、地区奨励奨学金が 23 人、クラブ支援奨学金が 8 人、海外学友会推薦奨学金が 1 人、海外

応募者対象奨学金が 25 人となっています。

4 月末までに新規採用者に対して各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かく、新たな奨学生をお迎えください。

4. 寄付金速報 — 今年度も残り 2 か月半 —

前年同期比

+ 1.8%

普 - 1.4% 特 + 3.3%

3 月末までの寄付金は前年同期と比べて 1.8%増（普通寄付金：1.4%減、特別寄付金：3.3%増）、約 2,110 万円の増加となりました。

ロータリー会員の皆さまからのご支援に厚く御礼申し上げます。今年度も残り 2 か月半ほどとなりました。4 月以降は新規奨学生に関する行事も増加しますので、引き続き米山記念奨学事業へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

5. 3 クラブ合同例会 主役は米山学友

3 月 13 日、東京浅草 RC・東京上野 RC・東京浅草中央 RC による「3 クラブ合同例会」（主催：東京浅草 RC）が都内にて開催されました。今回の合同例会は“米山学友の活躍”にスポットを当てたもので、二部構成で開催されました。

第一部はアメリカ出身で、沖縄に住みながら「長寿」沖縄の食生活とライフスタイルを研究・発信するクリスタル バーネットさん（2017-18 / 那覇南 RC）の卓話が行われました。



卓話を行うクリスタルさん

「長寿の秘訣は、食べる物ではなく食べ方にあります。楽しんで食事をする。そして、生きる目的を持ち、ソーシャルコネクションを持ち続けること」であり、それらすべてが「ロータリーライフに通ずるものがある」と語り、会場を沸かせました。



米山学友 4 人によるパネルディスカッション

第二部では、クリスタルさんに加え、モンゴル出身のエンフボルド ガンエルデネさん（2014-15 / 東京江東 RC）、中国出身の崔立剛さん（2008-09 / 青森 RC）、^{サイリツコウ}朱インインさん（2010-11 / 札幌東 RC）が登壇。4 人によるパネルディスカッションが行われ、「なぜ日本に残って働くのか」「東京で働く上での苦労」などについて、それぞれの体験談が披露されました。

今回のプログラムを立案した東京浅草 RC の田原績会長は、「今日、この日を心待ちにしながらも、参加が叶わなかった元地区米山奨学委員長であり、私の盟友でもある小森谷典明さんに良い報告ができそうです。ロータリー会員の皆さんに米山奨学事業について少しでも関心を持ち、日本に残って頑張る米山学友を応援していただければと思います」と、話しました。

6. 恩返しのボランティア活動

2月23日、関東在住で新疆ウイグル自治区出身の米山学友、イスカandal アブドバリさん(2017-18/川越RC)、スライマン アボレケモさん(2019-20/坂戸RC)、スマイルジャン エメットさん(2017-19/金沢RC)、アハット アブリズさん(2017-19/久留米東RC)を含む20人のグループが石川県の七尾市と羽咋郡志賀町にてボランティア活動を行いました。

当日は2つのグループに分かれ、一組は羽咋郡志賀町でウイグル料理のポロやスープ250人分の提供、もう一組は七尾市の被災現場で復旧作業を行いました。現地では、他のボランティア参加者と協力しながら作業を行い、被災した方々からは感謝の言葉をたくさんもらったそうです。なお、共にボランティアに参加した20人全員が日本で仕事をしており、これまでの恩を少しでも返すことができれば、という思いで参加したそうです。

アブドバリさんは、アボレケモさん、エメットさん、アブリズさんと共に「NPO法人JUアカデミー基金」を設立し、理事長を務めています。優秀な日本在住のウイグル出身留学生および中央アジアからの私費留学生へ、奨学金の支給や学習サポートを行っており、これまでに16人を支援。また、経済的支援が必要な日本人小学生にも奨学金を付与することを決定し、今後実施していく予定とのことです。



羽咋郡志賀町で振る舞ったウイグル料理のポロ

7. スリランカカレーで心も身体も温かく

韓国出身で大宮北RC会長を務める米山学友、金福漢さん(1995-97/大宮北RC)が第2610地区穴水RCと協力し、能登半島地震の被災地でスリランカカレーの炊き出しや復旧ボランティアを行いました。



スリランカカレーを用意する金さん(左)

経緯として、穴水町にある福祉施設「精育園」から、全国の社会福祉施設に対して救援要請が出され、さいたま市でNPO法人 織の音アート・福祉協会「織の音工房」の代表を務める金さんが支援を決断したことが背景にあります。

3月21日に石川県入りした金さんは、共に現地入りした職員と翌日の炊き出しの準備と、スリランカカレーの仕込みを行いました。なお、このカレーは第2720地区Japan O.K.ロータリーEクラブ会員の米山学友で、共に第2代よねやま親善大使を務めたスチッタ グナセカラさん(2010-11/別府RC)が提供してくれたそう

です。22日に精育園に到着した金さん一行は、穴水RCの東四柳史明会長、鳥越豊子幹事、七海友也会長エレクト、舞谷繁ガバナー補佐と合流。前日から準備した、無農薬の野菜をたっぷり使い、ココナッツミルク

で辛味を抑えて作ったというスリランカカレーを振る舞い、精育園の入居者らと交流しました。23日も七尾市などで炊き出しや復旧ボランティアに参加するなど、精力的に活動を行った後、24日に埼玉へ戻ったそうです。

金さんは、「現地は復旧の遅れが深刻で、継続的支援の重要性を感じました。ボランティアに行けなくても、大きな支援はできなくても、被災者に心を馳せ、応援している方が多くいる、という事を伝えられて良かったと思います。被災された方々の『忘れられるのが一番怖い』という言葉が胸に刺さりました。これからも、できる支援を続けていきます」と、語りました。

Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2024年5月号 No. 1

発行: Region 1, 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



LGBTQ+ の人びとが 参加しやすいクラブづくりを

第3地域

ロータリーコーディネーター補佐

大森 克磨

(大分キャピタルRC)

私の職業分類は弁護士です。

私が所属する大分県弁護士会では、2023年1月に研修テーマとして、LGBTQ+の方々に関する法的問題が取り上げられました。

また、同年9月には、この問題が、九州弁護士連合会の定期大会の報告テーマにもなりました。

私自身も、現在、性別変更手続を手がけており、LGBTQ+の方と接してしておりますが、LGBTQ+の方々は既に身近な存在となっております。

さて、「LGBTQ+の人びとが参加しやすいクラブづくりを」(寄稿者: グラント・ゴディノ [オーストラリア] 会員) というタイトルの記事を目にしたのは、3、4年前のことで、おそらくロータリーの友ではなかったかと思えます。

ロータリーは、「多様性、公平さ、インクルージョン (DEI) の原則」を大切にしておりますし、また、ロータリーは、ハラスメントのない環境を維持することに力を注いでおります。

ロータリーの捉えるハラスメントとは、「大まかに定義すると、個人またはグループを、以下の特性に基づいて、言葉であれ身体的であれ、脅迫、中傷、侮辱または攻撃する言動を指す: 年齢、民族、人種、肌の色、障がい、宗教、社会経済的地位、文化、性別、性的指向、または性自認。(ロータリー章典26.120. 会合、行事、または活動におけるハラスメントのない環境から抜粋)。」とのことです。

しかし、LGBTQ+の方々への接し方はDEIの観点からだけではありません。

LGBTQ+の方々の人口割合は、2022年鹿児島県弁護士会の調査では全人口の約8%、2023年電通ダイバシティ・ラボ調べでは約9.7%、と推定されており、数字のブレは多少あるものの、相当数いらっしゃると思います。

私はロータリーコーディネーター補佐であり、その任務は、ロータリーコーディネーターを補佐して、会員増強や戦略計画策定の普及などを図ることとなります。

日本では、女性(この場合は生まれながらに与えられた性が女性)の会員が10%に満たず、女性のロータリアン獲得を目指さなければなりません。上記の数字をみれば、LGBTQ+の方々も大きな会員増強のターゲットであることが分かります。

LGBTQ+の方々は、我々ロータリーにとっては、DEIの問題だけではなく会員増強のターゲットと考えるべきだと思います。

2023年度 九州弁護士会連合会 第76回定期大会シンポジウム

**虹をかけよう、LGBTQ+と、
SOGIEと、それから私、**



2023年9月22日
城山ホテル鹿児島 エメラルドホール

九州弁護士会連合会・鹿児島県弁護士会

(九州弁護士連合会での配付資料)

Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2024年5月号 No. 2

発行: Region 1, 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



手っ取り早くブランディング

第3地域

ロータリー公共イメージコーディネーター補佐

深尾 兼好

(鹿児島西RC)

先日、地域リーダー会議で東京にメンバーが集まった折、面白い議論が持ち上がりました。「正式ロゴのバッジをつけているメンバーがほとんどいないのはどうして」「昔のバッジに愛着があるのよね」「横長のバッジはすぐにひっくり返る」「バッグがバッジに引っかかる」「ROTARYとこれ見よがしに入っているのも気が引けて」「徽章に限りマークのみの使用を認めているのも中途半端」「でもロータリーのブランディングを推進しているRPIC、ARPICは正式ロゴのバッジをつけるべきだよね」・・・と喧々諤々。謙譲の美德=陰徳を是とした時代から一転して、素晴らしい行為はあらゆる手段を講じて社会に伝えるべしという公共イメージの向上が叫ばれ始め、その一環としてのブランディングが重要課題となっています。ブランディングとはロータリーの理念をベースに行動指針を定め視覚や言語を通じて社会の情感にアプローチすること。決してロゴデザインをガイドライン化し管理するに留まるものではありません。

私は長年、広告という業界に身を置き、嘗て多くの企業のCI(コーポレート・アイデンティティ)戦略(ブランディングという言葉が一般化する以前の企業のイメージ戦略)に携わってきましたが、MI(マインド・アイデンティティ)=企業理念とBI(ビヘビア・アイデンティティ)=行動指針、この両者を表現するVI(ビジュアル・アイデンティティ)からなるCIの本質をなおざりにして、マーク・ロゴだけが無意味に残存する例をたくさん見てきました。世界の有名企業の多くは明確な企業理念と行動指針を持ち、社員の意識も高く期待通りの事業を展開し、これらをシェアするインパクトのあるコミュニケーションの中でビジュアルとボイスが一貫しています。マークを目にするだけで、メッセージに触れるだけで、その企業の魅力が見えてきます。これはロータリーのブランディングにも言えることです。手っ取り早くは、社会の話題となるような奉仕プロジェクトを仕掛け、ロータリーのボイスを意識したメッセージと、ストーリーテリング、自分自身のこととしてロータリーでの体験や感動を語る。会場の設営やPR素材は、ビジュアル・アイデンティティを統一し、ロータリーカラーと正しいロゴを使用する。要所は画像で取り込みネットで配信するだけでいいのです。ブランディングは、ロータリーと社会とを繋ぐインターフェイス、時々刻々コミュニケーション手段は変わります。嘗ては電車の中でサラリーマンが手にしていたのは新聞、家庭ではテレビ。ところが今では電車の中では皆がスマホを見て、家庭ではテレビより長時間SNSにつながっています。是非是非お試し下さい。

Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2024年5月号 No. 3

発行: Region 1, 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



ポール・ハリス・ソサエティ (以降PHSとする)
へのご協力をお願いします。

第3地域

ロータリー財団地域コーディネーター補佐

吉原久司

(尾道RC)

PHSとは毎年継続的に1,000米ドル以上を年次基金、ポリオプラス基金、ロータリー災害救援基金、財団が承認した補助金のいずれかに寄付して下さるロータリー会員とロータリー財団支援者を認証するものです。

2013年に創設されて以来PHSは大きく成長してきました。その寄付額はロータリー財団年次基金の21%、財団への寄付全体の20%を占めています。PHSの会員数は2014年に10,607人(84か国)でしたが2023-24年度には32,000人以上(154か国)にまで増えています。世界のPHS会員数の上位国は①米国15,530②韓国5,805③インド1,705④日本1,396名となっています。(2023年11月1日現在)

PHSに入会には入会時に一括で1,000米ドルを寄付する必要はなく、各年度に合計が1,000米ドルとなるように、どのように寄付するかは寄付者が決めることができます。その後の年度も、一括で1,000米ドルでも、ロータリー年度末までに少額を何回かに分けても、どちらでも結構です。入会方法はマイロータリーPHSのページから開くことができますし各地区のガバナー事務局からも手続きをとることができます。認証方法は地区単位で行われるプログラムであり、贈呈の方法は各地区で異なります。ガバナー並びにエレクトの皆様は地区大会などの公式行事の際に認証式を行うなど積極的に取り組んで頂きたいと思います。

ポール・ハリスは、「どんな白昼夢でも、それが良い夢で、実現させることができるのなら、悪い癖とは言えない」と言ったそうです。ロータリーでは、地元や世界で素晴らしいプロジェクトや活動を行うことで、夢を実現しますが、これは、ロータリアンや支援者の方々の惜しみない寄附があるからこそ可能となります。ぜひ皆様方にはPHSの精神をお汲み取り頂き入会をして頂けるようお願い申し上げます。

2023-24年度(2023年7月1日～) 地区別 ポール・ハリス・ソサエティ会員数と増加数

第1地域 14地区

地区	2500	2510	2520	2530	2540	2550	2560	2570	2770	2790	2800	2820	2830	2840	合計
PHS数 (本年度 増加数)	13 (2)	84 (2)	5	47 (7)	2	24 (2)	21 (1)	38 (9)	45 (2)	73 (2)	5 (1)	117 (4)	17 (1)	7	498 (33)

第2地域 9地区

地区	2580	2590	2600	2610	2620	2630	2750	2760	2780	合計
PHS数 (本年度 増加数)	116 (2)	53 (1)	12	11 (2)	11 (1)	30 (1)	222 (11)	68 (24)	33 (1)	556 (43)

第3地域 11地区

地区	2640	2650	2660	2670	2680	2690	2700	2710	2720	2730	2740	合計
PHS数 (本年度 増加数)	14	17	70 (2)	9	22	87 (2)	118 (3)	12 (4)	23 (3)	11 (3)	14 (6)	397 (23)

合計
1,451名
(99名増)

2024年4月4日現在

国際ロータリー第2500地区 **新入会員の紹介**

第1分區 稚内ロータリークラブ

さ さ き まさ ひと
佐々木 正人

■港湾建設
■1949年8月12日生 ■4月1日入会

恐らく最年長の新入会だと思いますが、友情 奉仕 相互理解の精神を大切に行動しますのでよろしくお願いたします。



第1分區 稚内ロータリークラブ

いの がい てつろ う
猪飼 哲朗

■損害保険
■1975年12月9日生 ■4月2日入会

ここ数年ソロキャンプ・陶芸にはまっています。安心・安全・健康をキーワードに地域の皆さまにお届けできるよう努力して参ります。



第1分區 稚内ロータリークラブ

た なか やす ひと
田中 保人

■生命保険
■1971年9月3日生 ■4月10日入会

ロータリー活動が初めての為、大変緊張しています。先輩方にご指導賜り、地域の皆様のお役に立てるよう精一杯努めて参ります。宜しくお願致します。



第1分區 稚内ロータリークラブ

むら お ただ ひで
村尾 忠英

■地方銀行
■1970年11月11日生 ■4月10日入会

先輩方に学び、地域貢献に務め、人のお役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。



第1分區 稚内ロータリークラブ

ふじ い まさ とし
藤井 雅俊

■地方銀行
■1967年8月11日生 ■4月10日入会

ロータリークラブに入会し、地域貢献に努力いたします。



第3分區 旭川東ロータリークラブ

かく た ひで あき
角田 秀昭

■神道
■1955年12月19日生 ■1月1日入会

創祀百三十二年の上川神社は、上川離宮予定地である神楽岡に遷座して、本年百周年を迎えます。上川・旭川の歴史の原点に学び、開拓先人の御霊を偲びつつ、新たな未来への志向を誓う年に致したいと思います。令和六年六月六日の神楽岡御遷座百周年大祭には、大勢の参拝者とともに神楽岡を「神人和楽」の日に致したいと念じております。何卒、ご教導ご鞭撻の程宜しく御願申し上げます。



第4分區 滝上ロータリークラブ

あお やま かず ひろ
青山 和浩

■信用金庫
■1983年1月28日生 ■4月10日入会

お世話になります。妻、子2人、サッカー、フットサル好きです。



第4分區 遠軽ロータリークラブ

あ だち まさ ひこ
安達 正彦

■電力業
■1968年3月4日生 ■4月11日入会

ロータリークラブの活動には初参加です。単身赴任で頑張ります。よろしくお願いたします。



第5分區 北見ロータリークラブ

お の だ よし ひさ
小野田 禎久

■ガス事業
■1968年11月9日生 ■4月10日入会

千歳支店から着任しました。自宅は江別で単身6年目のベテランです。北見ライフを楽しみます。よろしくお願します。



第5分區 北見ロータリークラブ

き むら とも み
木村 友美

■電気事業
■1971年12月23日生 ■4月17日入会

初めての北見勤務です。北見では「keep smile, stay positive」(by ロソラレ)の精神で北見地域の活性化に貢献してまいります。



第5分區 北見ロータリークラブ

おか もと げん ご
岡本 玄吾

■新聞業
■1967年9月28日生 ■4月17日入会

久しぶりの単身赴任ですが、入会させていただき北見の生活も楽しくなりそうです。様々な会に顔を出したいと思います。



第5分區 北見ロータリークラブ

の むら ひで と
野村 英人

■郵便事業
■1965年8月20日生 ■4月17日入会

30年ぶりの北見勤務となります。趣味のゴルフは健在です。よろしくお願いたします。



第7分區 釧路ロータリークラブ

た むかい たか ゆき
田向 隆之

■冷凍空調設備業
■1980年4月10日生 ■2月1日入会

連綿の如く歴史を紡いでこられた先輩諸氏に敬意を払いつつ、まずは交流の輪の中で活動を学びたいと思います。



第7分區 釧路ロータリークラブ

ふる や だい すけ
古屋 大輔

■水泳指導
■1981年7月29日生 ■3月21日入会

このクラブでしっかり勉強させていただきたいと思います。ご指導のほどよろしくお願申し上げます。



第7分区 釧路ロータリークラブ

わたり かず や
日理 一哉

■不動産仲介業
 ■1974年2月20日生 ■2月1日入会

2017~2019前職の際お世話になっておりましたが、また戻ってまいりました！
 今後とも宜しくお願いたします！



ロータリー財団寄付者報告

第3分区 北海道2500ロータリークラブ

たか はし ひろ あき
高橋 広昭

寄付月日 2024年3月15日
 寄付種類 AF-SHARE

第3分区 北海道2500ロータリークラブ

わた なべ まさ とし
渡邊 正俊

寄付月日 2024年3月15日
 寄付種類 ポリオプラス

第5分区 留辺蘂ロータリークラブ

きく ち とおる
菊池 道

寄付月日 2024年4月17日
 寄付種類 年次基金

第5分区 留辺蘂ロータリークラブ

たか だ ゆう しゅう
高田 有修

寄付月日 2024年4月17日
 寄付種類 年次基金

第6分区 帯広西ロータリークラブ

まつ だ たか し
松田 貴史

寄付月日 2024年1月31日
 寄付種類 MPH F + 7

第8分区 根室西ロータリークラブ

おお しま よし たか
大島 義孝

寄付月日 2024年1月31日
 寄付種類 PH F

米山功労者報告

第3分区 旭川モーニングロータリークラブ

たけ だ あき ひろ
武田 昭宏

寄付月日 2023年11月20日
 米山功労者 4回

第3分区 旭川モーニングロータリークラブ

たけ むら よう こ
竹村 陽子

寄付月日 2023年11月20日
 米山功労者 3回

第3分区 旭川モーニングロータリークラブ

き むら かず や
木村 和哉

寄付月日 2023年11月20日
 米山功労者 1回

第6分区 帯広北ロータリークラブ

あら き たつる
荒木 樹

寄付月日 2024年4月5日
 米山功労者 1回

第6分区 帯広北ロータリークラブ

さ とう みつ もと
佐藤 三幹

寄付月日 2024年4月5日
 米山功労者 1回

第6分区 帯広北ロータリークラブ

はやし まなぶ
林 学

寄付月日 2024年4月5日
 米山功労者 1回

物故会員

第3分区 旭川ロータリークラブ

くま い めぐ み
熊井 恵美 〈頭頸部外科医〉 2024年12月31日逝去 (享年72歳)

2002年 9月入会
 2010年 米山記念奨学会委員長
 2018年 職業奉仕副委員長

2021年 国際奉仕副委員長



物故会員

第6分区 帯広北ロータリークラブ

いし はら さとし
石原 智 〈外国車販売〉 2024年3月24日逝去 (享年95歳)

1984年 1月入会
 1986年 親睦委員長
 1988年 都市安全委員長
 1989年 副SAA

1990年 SAA
 1993年 出席委員長
 1997年 ロータリー財団委員長
 1999年 副会長

2001年 職業奉仕委員長
 2003年 ロータリー財団委員長
 2006年 ロータリー情報委員長



例会出席率及び会員数推移

2023年3月末報告

分 区	クラブ名	例会 数	出席率 (%)	会 員 数					
				前月	当月	増減	女性 会員	入会	退会
1	礼 文	2	50	13	13	0	0	0	0
	利 尻	4	95	19	19	0	0	0	0
	利 尻 島	2	42	17	17	0	1	0	0
	天 塩	2	67.8	14	14	0	2	0	0
	豊 富	4	100	20	20	0	1	0	0
	稚 内	4	79.3	44	39	-5	2	0	5
	稚 内 南	3	81.7	36	36	0	1	0	0
	計		73.7	163	158	-5	7	0	5
2	美 深	3		27	27	0	1	0	0
	枝 幸	4	69	25	25	0	0	0	0
	名 寄	4	65.9	55	55	0	2	0	0
	中 頓 別	4	75	14	14	0	0	0	0
	士 別	3	78.3	43	43	0	1	0	0
計		72.1	164	164	0	4	0	0	
3	旭 川	4	73.47	65	65	0	4	0	0
	旭 川 東	3	—	27	27	0	0	0	0
	旭 川 北	3	74.64	47	47	0	0	0	0
	旭 川 南	3	—	26	26	0	0	0	0
	旭 川 西	3	71.1	43	42	-1	5	0	1
	旭 川 東 北	3	—	17	17	0	1	0	0
	旭川モーニング	3	—	21	21	0	2	0	0
	旭 川 空 港	4	86.7	16	16	0	3	0	0
	美 瑛	3	51.6	30	31	1	0	1	0
	富 良 野	3	74.3	45	45	0	3	0	0
	上 川	3	66.67	10	10	0	0	0	0
	2500REクラブ	3	73	19	21	2	4	2	0
計		71.4	366	368	2	22	3	1	
4	遠 軽	4	79	44	44	0	2	0	0
	紋 別	5	66.12	30	30	0	0	0	0
	紋 別 港	4	65.21	27	26	-1	0	0	1
	興 部	3	76.19	14	14	0	0	0	0
	雄 武	3	79.3	14	14	0	0	0	0
	滝 上	3	68.9	15	15	0	1	0	0
計		72.5	144	143	-1	3	0	1	

分 区	クラブ名	例会 数	出席率 (%)	会 員 数					
				前月	当月	増減	女性 会員	入会	退会
5	網 走	3	68.24	58	58	0	8	0	0
	網 走 西	3	61.7	47	47	0	0	0	0
	美 幌	4	79.6	52	50	-2	5	0	2
	北 見	3	82.46	59	53	-6	6	0	6
	北 見 東	4	76.71	40	40	0	2	0	0
	北 見 西	3	83.6	61	61	0	3	0	0
	清 里	3	83.3	30	30	0	0	0	0
	留 辺 薬	3	69.87	22	22	0	1	0	0
	斜 里	3	60.9	29	29	0	3	0	0
	計		74.0	398	390	-8	28	0	8
	6	足 寄	2	70.68	29	29	0	1	0
広 尾		2	45	20	20	0	0	0	0
上 士 幌		3		14	14	0	0	0	0
芽 室		2	83.35	21	21	0	1	0	0
帯 広		3	67	88	87	-1	6	0	1
帯 広 東		4	68.75	38	38	0	2	0	0
帯 広 北		4	94	65	64	-1	3	0	1
帯 広 南		3	69.31	66	66	0	8	0	0
帯 広 西		4	62.82	87	87	0	6	0	0
音 更		3	72.2	42	42	0	5	0	0
清 水	3	68.3	18	18	0	2	0	0	
計		70.1	488	486	-2	34	0	2	
7	釧 路	4	53.7	103	103	0	0	1	1
	釧 路 東	3	66	31	31	0	0	0	0
	釧 路 北 (サテライト)	3	77	77	79	2	5	2	0
	釧 路 南	4	71	27	27	0	4	0	0
	釧 路 西	2	67	28	28	0	1	0	0
	釧 路 ベイ	3	88	20	20	0	2	0	0
	音 別	3	87	15	15	0	0	0	0
	白 糠	4	88.6	11	11	0	1	0	0
計		74.8	339	341	2	22	3	1	
8	厚 岸	2	76.9	13	13	0	0	0	0
	別 海	4	75	10	10	0	0	0	0
	浜 中	4	55	11	11	0	1	0	0
	中 標 津	3	35	40	40	0	3	0	0
	根 室	4	61.3	33	33	0	0	0	0
	根 室 西	3	82.9	49	49	0	1	0	0
弟 子 屈	3	78	16	16	0	1	0	0	
計		66.3	172	172	0	6	0	0	
総 計		71.9	2,234	2,222	-12	126	6	18	

第2500地区 全65クラブ	前月末会員数	当月末会員数	増 減	平均出席率
	2,234人	2,222人	-12人	71.9%
女性会員数	122人	126人	4人	



北海道オホーツク流氷科学センター



2023-2024年度
国際ロータリー第2500地区

ガバナー事務所

〒094-0007 北海道紋別市落石町4丁目19-5

TEL / 0158-28-8280 FAX / 0158-28-8281

Mail / 2023-2024_governor-office@rid2500.jp

公式WEBサイト / <https://2023-2024.rid2500.jp/>

公式facebook / <https://facebook.com/rid2500/>

下記QRコードから
アクセスできます



WEBサイト



facebook